

2019. 11. 1

里は動植物たちが有終の美を競いながら、やがて鳥たちの鳴き声がこだまする冬へと移っていきます。真っ青の空、ひんやりした空気、静まり返った里山の秋は、まるごと心に沁み込むようで郷愁に浸ることができます。控えめに咲く野菊の花がそっと揺れてます。



ムラサキシキブ

木の实 草の实



ガマスミ



ゴンズイ



クサギ



コマユミ



コナラ

クヌギ

スタンイ

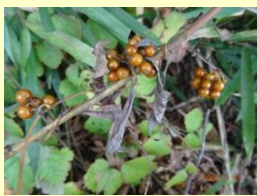
シラカシ



トキリマメ



ヒヨドリショウゴ



ヘクソカズラ



カラスウリ



タコノアシ



ヤマノイモ



オニドコロ



ジュズダマ



アオサギ

キタテハ

キタキチョウ

アオシ

ツマグロヒヨウモン

ヒメアカタテハ

セグロセキレイ

オオカマキリ

<季節メモ> モズの縄張り

秋になると梢で「キー、キキキ」と鳴くモズの声がよく聞かれます。このモズの声は「高鳴き」といいます。モズは、この声で縄張りを宣言しているのです。モズは、オスが先により環境を縄張りとし、メスは残った場所を縄張りにします。そこで、オスカメスカを見分ければ、その場所がモズにとってよい環境かどうかわかります。春、オスの何羽かは冬の縄張りにとまどり、メスはオスに嫁入りして、つがいになります。冬に使った縄張りは春、繁殖のため使われます

写真・編集：晝間